

《一》次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。(字数制限のある問題は、句読点も一字に數えます。)

私の世代には、「シートン動物記」を読んで育つた人が多いはずだ。とりわけ動物に関する職業についている人たち、獣医、動物園のA シイク係、動物学者などは、その道を目指したきつかけになつたと考える人も少なくない。オオカミ王ロボ、キツネのスカーフエースやビクセンが、人間に追い詰められながらさまざまな知恵を發揮して生き抜いていく様子を、息を凝らし、はらはらしながら読みつないだものだ。それが私の野生動物への興味を駆り立て、野生のゴリラの研究に向かわせたB エンインになつていると思う。

第二次世界大戦の直後に、京都大学で動物社会学という新しい学問が始められたとき、研究者たちは自らをシートニアンと称した。ウマ、シカ、サル、ウサギの一頭一頭に名前をつけ、その行動をii つぶさに記録した。ちょうどシートン動物記のように、名前の付いた動物の個体同士のやりとりを描写し、動物たちの社会的な知覚力を推察したのである。ただ、日本の研究者はシートンのように動物の英雄だけでなく、群れに属する全ての個体を考慮した。また、動物を人間の言葉で語らせるのではなく、彼らの声や表情やしぐさの意味を理解しようとした。文学ではなく、科学として動物の社会を明らかにする試みだったからである。

しかし、①この試みは欧米の学者から強く批判された。言葉を持たない動物に名前をつけ、その行動を記述することは、動物が人間のような心を持つと見なす誤った考え方であるというのである。当時、動物を擬人的に見ることを強く戒める風潮が欧米にはあつた。文化も社会も言葉を持つ人間だけに可能なもあり、動物は本能の働きに従つて外界の刺激に機械的に反応しているだけだと考えられていた。実はシートン動物記も欧米の少年少女たちにあまり知られていない。②動物学者たちに尋ねても、シートンを知らない人が多いのである。

西洋の昔話では、動物は人間になれない。動物に変身させられた人々が勇氣ある行為に助けられて復活する物語ばかりだ。そこには人間と動物との間に決して超えることのできない境界がある。C タイショウ的に日本の昔話は、動物が人間になつて一緒に仕事をしたり、食事をしたり、結婚して子どもを作つたりする。ただ、動物たちは人間の姿になるだけで、人間とは違う心を持ち、人間にはない力を發揮する。日本人は、そのような動物たちとこの世界に共存している実感を持つて暮らしてきたようだ。

だから、日本の動物学者たちはシートン動物記をあまり違和感なく受け入れたのだろう。かくいう私もニホンザルとゴリラの研究を始め、彼らとのやりとりを通して彼らの心のありようを強く意識するようになつた。ある時、ゴリラのオスが近づいてきて、私の顔をじっと見つめた。相手の顔をのぞき込む行為はニホンザルではiii 威嚇を意味するので、ゴリラにまだD ガれていなかつた私は目をそらして下を向いた。そうすれば、ニホンザルなら私に敵意がないとみて、のぞき込むのをやめる。ところが、ゴリラはなおも顔を近づけて執拗にのぞき込み続けた。そして、私が態度を変えないと不満そうにE ムネをたたいて去つていった。

それを見て、私はゴリラのことを誤解していたことに気づいた。相手の顔をのぞき込むのはゴリラでは威嚇ではない。このゴリラは恐おそらく私にあいさつをするか、遊びたかったのである。のぞき込むという行動の意味が、ニホンザルとも人間とも違つていたので、私にはすぐにわからなかつたのである。でも、この時、ゴリラは明らかに私に働きかけ、私からゴリラの間で通じる反応を期待したのである。それは、ゴリラが私を仲間に受け入れようとした態度の現れである。ここにゴリラの心があると言えないだろうか。

20世紀後半の野生動物の研究は、動物に独自の文化や社会があることを明らかにした。チンパンジーやオランウータンなど人間に近い類人猿の研究者たちは、日本の研究者と同様に個体に名前をつけてその行動を記録している。彼らが人間とはちょっと異なる、でも私たちに理解可能な心を持つていることがわかつてきた。驚いたことに、これらの動物たちは激しい敵意を抱いていても、いつしか人間を受け入れてくれる。それは野生の動物たちが異種の動物と※していこうとする心をもつていることを示している。

シートンは、人間に追い詰められ、滅びしていく野生動物の姿を描いた。それから100年たつた今、私たちは動物たちの行動の意味をより詳しく理解できるようになつた。でも野生動物たちはますます絶滅の危機に瀕している。それは、その知識を人間が動物たちと共生するためではなく、利用するために使つていいからだ。今、大事なことは、共存し触れ合おうとする動物たちの心を感じ取ることではないだろうか。まだ私たちはシートンを超えることができていないのである。

(山極寿一「時代の風・シートン動物記から100年」)

毎日新聞 2012・6・24)

注 シートニアン——シートンの考え方を正しいと思い、それに従う者、という意味の造語。

問一 二重傍線部Ⅰ「息を凝らし」、Ⅱ「つぶさに」、Ⅲ「威嚇」の本文中での意味として最も適切なものを、次のの中から選び、<sup>ふ</sup>符号をそれぞれ書きなさい。

- |   |   |                          |
|---|---|--------------------------|
| Ⅰ | 人 | イ 激しく呼吸をし<br>口 深刻に思いつめ   |
|   | ハ | 思いで心が満たされ                |
| Ⅱ | 人 | ニ 深くため息をつき<br>木 息をとめて集中し |
|   | ハ | 機械的に                     |
| Ⅲ | 木 | 二 いきいきと<br>ニ 幅広く         |
|   | ハ | イ もれなく<br>口 学問的に         |
|   | 木 | 二 調べること<br>ニ 怒ること        |
|   | ハ | イ 不思議に思うこと<br>口 おどかすこと   |
|   | 木 | 二 疑つてかかること               |

問二 空欄※に入る最も適切な漢字二字の語を本文中から抜き出して答えなさい。

問三 傍線部①「この試み」とは、どのような試みか。次の空所にあてはまるよう、文中から三十字以上四十字以内の表現を探し、最初と最後の五文字を抜き出して答えなさい。

問四 傍線部②「動物学者たちに尋ねても、シートンを知らない人が多い」のはなぜか。シートン動物記の特色をふまえて、九十字以内で理由を説明しなさい。

問五 この文章の題名は「シートン動物記から100年」である。シートン動物記から100年たった現在、私たちはどうな状態にあると筆者は考えているか。百三十字以内で説明しなさい。

問六 傍線部A～Eを漢字に改めなさい。

※ 次のI・IIの問い合わせに答えなさい。

I 次の①～⑤の傍線部のカタカナの語を漢字に改めなさい。

- ① 作文コンクールでの文部科学大臣賞受賞の知らせは、セイテンの霹靂（きれき）だつた。
- ② 妹にとつて鉄棒の逆上がりはシナン（わ）の業だつた。
- ③ サケは生まれた川へカイキする習性がある。
- ④ 父は大変気に入っていた愛車をダンチョウ（だんちょう）の思いで手放した。
- ⑤ 学園生活ではさまざまなシシツを持つた友人に出会つた。

II 次の⑥～⑩の□に最も適切な漢字を入れて四字熟語を完成しなさい。

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| ⑥ | <input type="text"/> 刀直入 |
| ⑦ | <input type="text"/> 流行  |
| ⑧ | <input type="text"/> 災   |
| ⑨ | <input type="text"/> 百家争 |
| ⑩ | <input type="text"/> 強記  |

《二二》次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。（字数制限のある問題は、句読点も一字に數えます。）

わたしが小学一年生だった時のことだ。春学期が始まつて間もない頃、クラスのひとりの女の子が、日記をつけはじめた。ただ日記をつけるのではなくて、毎朝、先生に日記Aチヨウを提出する。すると先生は、その日の終わりまでに赤ペンで短い感想を入れて、返してくれるのだ。

それは素晴らしいことだった。わたしも、子供心に、日記をつけた時は感心、感心、と心の中で拍手を送っていた。だが、その後のあとがいけなかつた。先生がその女の子をあんまり褒めたので、まわりの子たちも「負けてなるものか」と、すぐに女の子のまねをして日記をつけはじめたのだ。この時だつた、わたしの中に、わるい予感がむくむくとふくれあがつていつたのは。

予感は的中した。最初に女の子につづいたのは四、五人だつたろうか。だが、それはすぐに十人になり、あつという間に二十人になつた。そして、気がついた時には、わたし以外のすべての児童が日記をつけ、かつ、それを毎朝先生に提出している、という恐ろしい状況<sup>きょう</sup>が生まれていた。

わたしはどうしても日記を書きたくなかったので、クラスに「日記旋風」が吹き荒れ<sup>あらわ</sup>ていることを家では内緒にしていた。それは、薄氷<sup>はくひ</sup>の上を歩くような思いだつた。わたしは息を殺して、まず右足を出し、しばらく様子を見てから左足を出した。だが、Bアンのジョウ、①冰は思つていたよりずっと薄かつた。

ある時、授業参観で学校を訪れた母は、「日記旋風」のことを知るべくして知つてしまつたのだ。その日の夜、わたしは家で母から問い合わせられ、Cキビしく叱責<sup>じせき</sup>をうけた。もう逃げられなかつた。その時までには、内濠<sup>ほり</sup>も、外濠<sup>ほか</sup>も、すっかり埋められていた。濠を埋めるために大急ぎで狩り出された人足たちの息づかいまでが、耳元で聞こえるかのようだつた。

あきらめたわたしは、重い足をひきずるようにして文房具屋をおとない、日記チヨウをあがなつた。そして、今だから告白するが、こころの中では、いちばん最初に日記をつけはじめた女の子のことを恨み始めていた。

だが、人生とはわからないものである。クラスを席巻した「日記旋風」のその後には、どんな気象予報士も予想出来ないDテンカイ<sup>てんかい</sup>が待つていた。どうのも、しばらくすると、最初に始めた女の子が、ある日を境にしてぱたりと書くのを止めてしまつたからである。このことがクラスのみんなに与えた衝撃<sup>しようげき</sup>は、はかり知れなかつた。「こんなはずじゃなかつた」という嘆息がどこからともなく漏れ、一同の士氣<sup>そ</sup>が削がれ、動搖<sup>とうよう</sup>はみるみるうちに広がつていつた。

一人が止めると二人が止めると五人が止めた。それは、Eまるで良くできたドミノ倒しのようだつた。ぱたぱたぱたと音を立ててドミノは倒れていき、気がつくと、クラスの中で日記をついているのはわたしだけという、逆の意味で恐ろしい状況が生まれていた。

なぜ、わたしのドミノだけが倒れなかつたのか、良くわからない。ただ、自分の意思で始めたわけではなかつたので、自分の意思で終わらせることもできなかつた、としかわたしには言えない。結婚<sup>こん</sup>にたとえれば、日記とわたしは、親に強いられた「見合い結婚」だつたが、③ほかの子たちの「恋愛結婚」よりはるかにうまくいった、ということだらうか。

時々先生が、みんなの前でわたしの日記を読み上げることもあつた。内向的だつたわたしは、それがいやでいやで仕方なかつた。だが、わるいことばかりではなかつた。日記に良いところを書いてほしいと思ったのだろう。クラスのガキ大将のような子たちが④状況を察して、わたしに優しく、親切になつたのだ。わたしは、何だかおかしかつた。

結果として、わたしは小学校の六年間、毎日日記を書きつづることになつた。そして、わたしは少しづつ、「言葉つて面白いな」と思うようになつていつた。もし日記をつけていなければ、Eチヨウじて詩を書きはじめるなど、およそありえなかつたろう。⑤今では、あの時いちばん最初に日記をつけはじめた女の子に、心から感謝<sup>おも</sup>している。

問一 傍線部① 「氷は思つていたよりずっと薄かつた」とは、どういうことを述べたものか。具体的に八十字以内で説明下さい。

問二 傍線部② 「まるで良くてできだらミノ倒しのようだつた」とは、どのような状況を表現したものか。四十字以内で説明下さい。

問三 傍線部③ 「ほかの子たちの『恋愛結婚』」とは、どういうことを述べたものか。次の中から最も適切なものを選び、符号を書きなさい。

- イ わたし以外の子たちが、女子に好かれるため日記を書いていたこと。
- ロ わたし以外の子たちが、みんなの様子を見て日記を書いていたこと。
- ハ わたし以外の子たちが、先生に好かれるため日記を書いていたこと。
- ニ わたし以外の子たちが、自ら書きたくなつて日記を書いていたこと。
- ホ わたし以外の子たちが、親からすすめられて日記を書いていたこと。
- ヘ わたし以外の子たちが、元々好きだつたから日記を書いていたこと。

問四 傍線部④ 「状況を察して」とあるが、「ガキ大将のような子たち」が察したのはどのような状況か。次の中から最も適切なものを選び、符号を書きなさい。

- イ わたしが先生に日記を提出しており、今も続けられていることが尊敬されている、という状況。
- ロ わたしが先生に日記を提出しており、そのためわたしが先生に気に入られている、という状況。
- ハ わたしが先生に日記を提出しており、わたしが見たことは先生やみんなに伝わる、という状況。
- ニ 先生が時々わたしの日記を読み上げたので、わたしが日記をやめられなくなつてゐる、という状況。
- ホ 先生が時々わたしの日記を読み上げたので、わたしが書いていることが有名であつた、という状況。
- ヘ 先生が時々わたしの日記を読み上げたので、みんながわたしに感心するようになった、という状況。

問五 傍線部⑤ 「今では、あの時いちばん最初に日記をつけはじめた女の子に、心から感謝している」とあるが、それはなぜか。八十字以内で説明下さい。

問六 傍線部A～Eのカタカナを漢字に改めなさい。

